

【論文概要】

僧帽弁閉鎖不全症はフォン・ヴィレブランド因子大多量体の同様の喪失と関連するが、大動脈弁狭窄症と比較して出血の頻度は低くなる

原題 : Mitral regurgitation is associated with similar loss of von Willebrand factor large multimers, but lower frequency of anemia compared with aortic stenosis.

発表者	<p>滝口洋¹, 三浦 瑞樹¹, 白井伸一¹, 曾我芳光¹, 羽生道弥², 坂口元一², 曾我欣治², 新井善雄², 渡邊真³, 木村剛³, 高濱博幸^{4,5}, 安田聡^{4,5}, 仲吉孝晴⁶, 福本義弘⁶, 矢尾板信裕⁵, 下川宏明⁵, 坂爪公^{7,8}, 齋木佳克⁷, 海北幸一⁹, 辻田 賢一⁹, 田村俊彦¹⁰, 道満剛之⁸, 山下美保子⁸, 鈴木美佐子⁸, 江浦由佳¹¹, 小亀浩市¹¹, 早川正樹¹², 松本雅則¹², 大久保礼由¹³, 菅原新吾¹³, 藤巻慎一¹³, 川手康徳¹⁴, 安藤献児¹, 堀内久徳⁸</p> <p>¹小倉記念病院 循環器内科, ²小倉記念病院 心臓血管外科, ³京都大学大学院医学研究科循環器内科学, ⁴国立循環器病研究センター心臓血管内科部門, ⁵東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学, ⁶久留米大学医学部 心臓・血管内科, ⁷東北大学大学院医学系研究科 心臓血管外科, ⁸東北大学加齢医学研究所, ⁹熊本大学大学院生命科学研究部附属健康長寿代謝制御研究センター 循環器内科講座, ¹⁰天理よろづ相談所病院 循環器内科, ¹¹国立循環器病研究センター 分子病態部, ¹²奈良県立医科大学 輸血部, ¹³東北大学病院 検査部, ¹⁴シスメックス株式会社 臨床戦略・学術本部 臨床戦略第二部</p>
発表概要	<p>背景</p> <p>さまざまな心血管疾患が、高分子（大）フォン・ヴィレブランド因子（VWF）マルチマーの減少を特徴とする後天性フォン・ヴィレブランド症候群（AVWS）を引き起こします。AVWSの原因として僧帽弁逆流症（MR）が報告されています。しかし、MRに関連するAVWSについては、まだ多くのことがわかっていません。</p>

	<p>目的 僧帽弁閉鎖不全症（MR）患者の VWF マルチマーを評価し、臨床的特徴への影響を調べる。</p> <p>方法 中等度または重度の MR 患者（n = 84）が登録されました。VWF パラメータ、例えば VWF 大マルチマー指数（VWF-LMI）、VWF 大マルチマーの量を表す定量値、および臨床データが前向きに分析された。</p> <p>結果 ベースラインでは、平均ヘモグロビン値は 12.9 ± 1.9 g/dL で、58 人の患者（69.0%）で VWF 大マルチマーの減少が見られ、VWF-LMI < 80%と定義された。変性 MR 患者の VWF-LMI は、機能的 MR 患者よりも低かった。VWF-LMI は僧帽弁介入の翌日に回復したように見え、介入後 1 か月も改善が維持された。7 人の患者（8.3%）に出血歴があり、そのうち 6 人（7.1%）に消化管出血があった。明らかな消化管出血、貧血などを調べるため、23 人の患者（27.4%）に消化管内視鏡検査を実施した。23 人の患者のうち 2 人（8.7%）に血管異形成が検出された。</p> <p>結論 中等度または重度の MR は VWF 大マルチマーの喪失を伴うことが多く、変性 MR は機能的 MR と比較してより重度の喪失を引き起こす可能性がある。僧帽弁介入により VWF 大マルチマーの喪失が修正される。MR 患者では消化管出血の頻度が比較的少なく、ヘモグロビンレベルは安定している可能性がある。</p> <p>キーワード 血管異形成、消化管出血、僧帽弁閉鎖不全症、フォン・ヴィレブランド病、フォン・ヴィレブランド因子</p>
投稿雑誌	<p>“rpth”: Research and Practice in Thrombosis and Haemostasis https://doi.org/10.1016/j.rpth.2024.102431</p>